

此全國労働團體大會ハ大正十一年一月及二月  
僅ノ豫定ヲ以テ關西方面ハ其川臺ニ及ニ關  
東方面高田和逸ニ山本鶴出花等ノ從違  
委員トシテ調査協議ヲ行シテアリシガ關東  
方委員ノ調査ニ依リテ友愛會以外ノ労働  
團體ハ其各員弱ナルモノ多ク中ニ一任ク一  
人一黨ニ過ダザルモノアリテ是等團體ト比シテ  
行動スルハ考テ慮ヲ要スル所ナリトシテ大  
大會ハ全國労働者ノ大同團結ヲ圖ル豫  
備ナリトセハ目ト其時期亦早ナリトノ  
意見ヲ發表シテ自然委員辭任ノ旨  
ヲ諭セシニ依リテ一月十八日東京聯合會  
ハ能ハル所ノ新幹部ヲ選出シテ關東方面ニ能  
ク活動スルモノ一應關西方面委員タル所  
ニ決意セリ

(十一月廿三日)  
對視二聽

ハ橫濱仲立同盟會等ノ挽回策企劃  
財界ノ不振ニ伴ヒテ斯業者ニ及ハ人暴起  
至大ナルモノアリ労働銀ノ減少ニ次クニ失業  
ノ結果出カ以テテ遂ニ會員謝散ノ狀況ニ  
在ルヲ以テ之カ今考古具糾合方法並ニ今  
員謝散防止策トシテ十一月十五日付  
版法ニ據リ公會報ノ團結ニテ救済  
員其他ノ旗布ニテ今更努力挽回ニカ  
アルモ依然不振ノ狀況ニテ該機關